

事例7：作業員が、後退してきたバックホウに挟まれ負傷

バックホウが後退した際に、作業員の足がキャタピラと地上に置いてあった水道管に挟まれ負傷した。

原因

- 作業員がバックホウの作業範囲内に立ち入った。
- バックホウ後退の際、オペレータが安全確認を怠った。

結果

- 足首亀裂骨折及び筋肉断裂

教訓

- ①バックホウで作業をする際、必ず建設機械誘導員を配置する。
- ②建設機械の作業半径内に立入る場合は、建設機械誘導員の指示に従う。

行動

- 作業員が、後退していたバックホウのキャタピラと地上に置いてあった水道管に挟まれた。

